

## 第2学年 学級活動指導案

日 時  
授業者

1 題材名 「たべもののひみつを考えよう」

### 2 題材設定の理由

児童は、給食時間にも慣れ、当番を中心に協力しながら準備し、会食を楽しんでいる。毎日の「給食クイズ」の活動からは、献立や栄養に興味・関心を高く示している様子が見える。

しかし、学年全体では魚料理や野菜の和え物等に残滓が見られ、個々の食べ方においても、食欲のある児童と極端に食の細い子がいる。

そこで、どんな食品にもそれぞれ大切な働きがあることを理解させ、苦手なものも食べていこうとする心情を高めたいと願い、本題材を設定した。

本題材は、特別活動の学級活動に位置づけられている「学校給食と望ましい食生活の形成」をねらいとしている。まず、「たべもののひみつ」として、給食で残してしまった食品には、どんな働きがあったかを考えさせていく。次に、大きく三つに分けられる食品の働きを示し、どの働きも健康な体作りに欠かせないものであることに気づかせ、残さず食べていこうとする心情を高めたい。

指導にあたっては、給食を残してしまうミッキーの劇を見せることにより、自分の問題に気づかせる。さらに、食品にはどのような「ひみつ」があるのかを予想していく中で、食品の体内での働きに気付かせ、苦手なものも食べていく実践につなげたい。

### 3 本時のねらい

○ 食品にはそれぞれ大切な働きがあり、健康な体作りに欠かせないものであることに気づかせ、苦手なものも食べていこうとする心情を高める。

### 4 学習過程

学 習 活 動	時間	○支援	*評価
<p>1. 人形劇「ミッキーのきゅうしょく」を見て、話し合う。</p> <p>(1) 「ミッキーのきゅうしょく」の人形劇を見る。</p> <p>(2) なぜ残してはいけないのかを、たべもののひみつから考える。</p>	10	<p>○ 食べたばかりの給食を残してしまうミッキーを見せることにより、自分の問題としてとらえることができるようにする。</p> <p>○ 給食を残すという問題場面から、なぜいろいろな物を食べないといけないのかを、ミニーの「たべもののひみつ」というセリフから考えさせる。</p>	
たべもののひみつを考えよう		* 本時のめあてをつかむことができたか。(観察)	
<p>2. たべもののひみつを考える。</p> <p>(1) ミッキーが残したさば、ごはん、人参のなかまを知る。</p> <p>(2) それぞれの箱の食品を食べたミニーの様子から、そのひみつを知る。</p> <p>(3) ミッキーが残したさば、ごはん、人参になって、たべもののひみつを教える。</p>	25	<p>○ 赤・黄・緑の箱から、児童に食品の絵を取り出させ、提示することにより、同じなかまの食品を知らせていく。</p> <p>○ ミニーの絵を見せることにより、食品のひみつに気づかせていく。</p> <p>○ 役割演技をさせることにより、理解を深めさせる。</p>	

<p>3. これからの自分の食事を考える。</p> <p>(1) 自分の苦手なたべもののひみつを確認する。</p> <p>(2) これからの食事ではどうするかを考え発表する。</p>	10	<p>○ はたらき君の図を用いることにより、児童が残すことが多い野菜の働きを知らせる。</p> <p>○ これからの食事の時に気をつけることをシートに記入させることにより、実践への意欲を高める。</p> <p>* 苦手なものも食べていこうとする心情が高まったか。(シート・発表)</p>
---	----	---